

指定管理施設評価 年間評価シート

令和4年度評価 (令和5年度実施)

1. 施設概要

Table with 4 columns: 施設名, 所在地, 指定管理者, 指定管理者所在地, 指定期間, 利用料金制, 施設所管課, 施設分類, 事業実施型, 選定方法, 公募, 主な業務内容, 電話.

2. 指標

Table with 4 columns: 施設の設置目的, 管理運営における基本理念, 評価指標 (施設利用者数, 再度の利用希望率), R4年度, R3年度, R2年度.

3. 管理運営状況

Table with 6 columns: 項目, 詳細, 現指定管理者 R4年度, 現指定管理者 R3年度, 現指定管理者 R2年度. Includes sections for 施設利用状況 and 指定管理者の収支状況.

Table with 4 columns: 利用者満足度調査結果, 実施時期, 回答数, 主な調査内容及び満足度 (普通以上の割合).

(P2：評価内容)

指定管理者制度モニタリング【様式3】

<b>指定管理施設評価 年間評価シート</b>		令和4年度評価 (令和5年度実施)	
施設名	三田市野外活動センター	施設分類	事業実施型
指定管理者	特定非営利活動法人 ナック	施設所管課	地域共創部市民協働室文化スポーツ課

#### 4. 各項目における評価内容

評価の観点	評価項目	項目区分	指定管理者セルフ評価	市評価
Ⅰ.基本的なサービスの提供	(1)施設運営に係る協定事項の遵守	適正管理	3 適正	3 適正
	(2)利用者の安全確保	サービス効果	5 優れている	3 標準
	(3)利用承認、案内等の対応と接遇	サービス効果	5 優れている	3 標準
	(4)市、関係団体、地域等との連絡調整	サービス効果	5 優れている	3 標準
	(5)施設の目的に沿ったサービスの提供	サービス効果	5 優れている	3 標準
	(6)目標の達成度	サービス効果	4 やや優れている	3 標準
Ⅱ.施設の管理	(1)建物保守管理・設備機器類の安全管理	適正管理	3 適正	3 適正
	(2)収納・文書・備品の適正管理	適正管理	3 適正	3 適正
	(3)清掃・衛生管理・警備	適正管理	3 適正	3 適正
	(4)指定管理者が行う修繕	サービス効果	4 やや優れている	3 標準
	(5)コスト削減、環境配慮の取り組み	サービス効果	5 優れている	3 標準
Ⅲ.事業の実施 【事業実施型のみ】 ※2倍得点	(1)効果的な情報提供	サービス効果	5 優れている	3 標準
	(2)委託事業（ソフト事業）の実実施計画	サービス効果	5 優れている	4 やや優れている
	(3)委託事業（ソフト事業）の目標達成	サービス効果	5 優れている	3 標準
	(4)自主事業への取り組み	サービス効果	5 優れている	4 やや優れている
	(5)共生社会の推進に向けた取り組み	サービス効果	5 優れている	3 標準
Ⅳ.満足度向上への取り組み	(1)苦情等への対応	サービス効果	5 優れている	3 標準
	(2)利用者獲得及び収入増加に向けた取り組み	サービス効果	5 優れている	3 標準
	(3)利用者ニーズに応じた改善	サービス効果	4 やや優れている	3 標準
	(4)利用者の満足度	サービス効果	5 優れている	3 標準
(得点率＝評価項目の評定の合計÷満点×100)			<b>得点率</b>	<b>68%</b>
			<b>総合評価</b>	<b>B</b>

評価項目（項目区分別）における評価区分	
適正管理【3段階】	サービス効果【5段階】
	5 優れている
	4 やや優れている
3 適正	3 標準
2 課題有	2 やや劣っている
1 要改善	1 劣っている
該当しない評価項目は斜線表示とする	



総合評価における評価区分	
得点率	→ 総合評価
概ね80%以上 ※	→ S 優良
概ね70%以上 ※	→ A 良好
概ね60%以上 ※	→ B 標準
概ね50%以上	→ C 要努力
概ね50%未満	→ D 要改善
※評価項目に1つでも1の評価がある場合は、C以下とする	

#### 5. 総評

<b>指定管理者による所見</b> ・目標を上回る利用者数や、自主事業の自然体験プログラムを実施し多くの参加者に自然に触れる機会を提供し、市の施設設置目的や自然体験活動等の実施により青少年の健全育成に寄与するという指定管理者特定非営利活動法人ナックの目標を達成している。
<b>市による所見</b> <b>【成果】</b> ・コロナ禍による施設利用制限が緩やかになったことや、SNSの積極的な活用等もあり、年間利用者数が前年度から約10%増え、年度当初の目標を大きく上回った。 ・工夫を凝らした自然体験プログラムも実施され、特に夏休みの繁忙期など施設内が混雑することなく運営できた。
<b>【課題】</b> ・アウトドアがブームとなっている昨今で、利用者のニーズに対応した取り組みが必要である。 ・適切な清掃や夜間管理などを行い、利用者が気持ちよく施設利用できるよう配慮が必要である。
<b>【今後の方向性】</b> ・橋梁改修工事に伴い令和5年9月末までの開所となるが、利用者の安全に十分に配慮しつつ、施設が持つ自然の魅力を十分に活かし、多様な利用者のニーズに対応した取り組みを目指す。